

栽培種目：バラ

バラの育成とガーデン作り

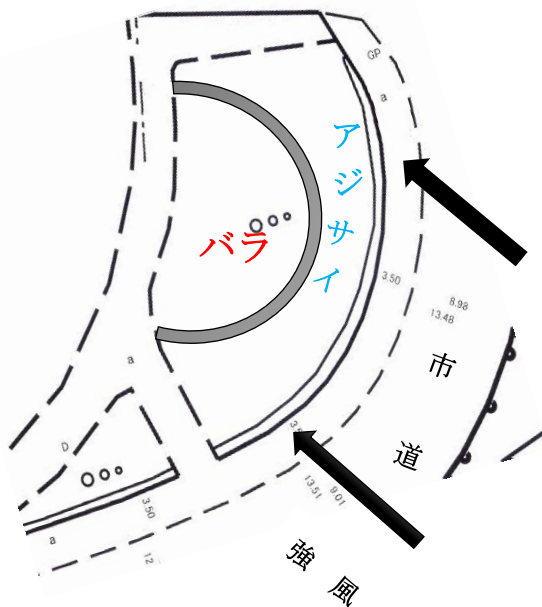
チーム名：バラの学習会

氏名：湯橋信公（代表）・山口民一・小沼啓達・花田孝子・熊野秀雄・加藤亜希子・星悦子

<要約>

2014年に柏市公園緑政課より紹介された用地を市民の楽しめるガーデンにするべく、芽の繁る荒地、約200坪の緩斜面の土地を整地し5年が経過した。当初1、2年は草花を多量植栽するが、夏の強烈な日射や冬の寒風で乾燥に弱い草花は淘汰されてしまう状況でした。現地環境を考慮し、風対策、乾燥対策を模索する中、ガーデンの理念と目標を意識し、花木、低木を植栽し、その中でバラとアジサイを主体とするガーデン作りを目指すこととしました。

県道 刈込坂バス停■



名戸ヶ谷 ←

1. 初めに

カシニワ・フェスタに参加するが、来訪者にアピールする印象的なポイントが無いと感じ、市民に楽しんで貰え、憩えるガーデンにすることを目的に、散策路の内側にバラを外側に風対策を兼ねアジサイの植栽を始めた。中央にはガーデンレンガ敷サークルを構成し、ベンチを設置した。多くのバラを植え、草花を所々に混植できるように、緑陰をつくる花水木、オリーブ、紅スモモ、花桃、シルバープリペット等を植栽した。今後、更に植栽するバラの数、種類を多くしてゆく中で、市民が憩える場所、ポイントを作る様、整備する予定です。

2. 方法

3年前、当初は知識のないままバラを数株植栽した。春には美しく咲いたが、夏の終りに黒点病により葉が殆んど落葉してしまった。しかし、草花と違い乾燥には耐え、翌年に又、咲きましたが、株により枝が弱るものが発生した。そこで、消毒をし、冬に株周りに堆肥と化成肥料を埋めると、見違えるように翌年は新枝（シュート）が伸びました。消毒や施肥の大切さの認識を新たにしました。

そこで、メンバーでバラの学習会を始めることとしました。

3. 結果

・カシニワ・オープニングイベント開催

学習を始めるにあたり、京成バラ園の店長と知己を得て、カシニワ・フェスタ2019に於いてオープニングイベントを千葉大、渡辺教授のご協力を得る中で開催できました。



< 基調講演 >



< 花の講演 >

・6月初旬から10月迄、4回の学習会を開催

第1回：ばらの歴史、系統と分類

第2回：栽培に大切なピンチ、剪定、品種とその性質等

第3回：夏剪定の実際、ガーデンアイテム

第4回：秋バラの京成バラ園を見学を実施しました。

・ガーデン作業

現在、40株程度のバラを栽培しながら、春の開花後の花柄処理、剪定の深さと次の開花時期の関係など学習することが沢山あります。又、癌腫病と思われる病害やカミキリ虫の幼虫による食害も観察されています。



< 癌腫病？の病徴 >



< 害虫処置 >

現在、多種類のバラを植栽し、育成する中で栽培方法についても種類ごとに配慮する必要があることに留意する様になりました。

剪定、消毒、施肥、ピンチや花柄処理など意識して楽しむことが出来、バラの株もシュートが沢山でるようになり、秋の開花も期待できるガーデンとなって来ました。



春から夏に生長した新しいシュートも充実し、秋バラを咲かせました。10月中旬から開花し、楽しむ人がガーデン内を散策している姿が見られるようになりました。

・バラの寄贈も

自宅で栽培していたがもう出来ないと云うことでバラを10鉢ほど持参、お願いしたいという方、庭が狭いのでと、コバルトセージ、ルリマツリ、モナルダ等を持参した方もあり、受け入れ、栽培するようになって来ました。

・挿し木でバラを、播種で花木を増やす。

バラの性質を学び、気に入ったバラを挿し木で増やし、又箕輪から移植したヤマボウシの種を播き、苗を育成することが出来ました。バラと花木が楽しみを創造してくれ、ガーデンの楽しみが拡大するようになってきました。



バラ挿木苗



ヤマボウシ苗（東大農学部1年?）

4. 考察

バラとアジサイのガーデンを整備するにあたり、まずはバラの学習を始め、その歴史や系統、種類を調査、学習するにつれ、次第に品種改良において**中国と日本の野バラ**の果たした役割の重要性や品種の違いによる管理手法（剪定方法その他）の違いも理解するようになりました。

当初は、咲いているバラを見て、その花姿、花色だけで苗を購入しましたが、
 ・庭植え向きか・寒さに強い・暑さに強い
 ・病気に強い・日陰に強い等、性質を考慮するようになりました。又、種類により姿、樹形が異なるので、ガーデンを作っていく上でその配置も気になって来ました。朝日に輝くガーデン、夕方の照明に映えるガーデンを意識するようになり、更に樹木、草花とのバランスも検討する必要が感じられるようになりました。近い将来は、野バラの台木に好みのバラを接木することにも挑戦したいと思います。

【参考文献】

- ① バラ栽培の教科書・鈴木満男監修
- ② 薔薇の便利帳
- ③ はじめてのバラとつるバラ ・村上敏監修
- ④ 完全オーガニック バラ栽培・真島康雄
- ⑤ 上野砂由紀 ガーデン花図鑑

5. まとめ

綺麗なバラを咲かせることを目的とせず、ガーデンに来る人々が憩える、安らげるガーデンとなるように、今後とも挑戦を続けたいと思います。バラの花よりも散策が楽しいと感じられる様なガーデンにしたいと思います。

バラもガーデンも見るとも自分で育て、作る方が楽しい！

春のカシニワ・フェスタと秋のカシニワ・オートムフェア2020に参加しましょう！



- ⑥ バラを美しく咲かせるとおきの栽培テクニック・鈴木満男著
- ⑦ 人気ガーデナーのガーデンデザイン（世界文化社）